



# 学校だより 本荘

## 2023 Smile

令和5年度 第44号  
令和6年2月16日  
熊本市立本荘小学校  
校長 西川 英臣

研究モデル校発表を行いました。日頃の実践や取組みを発信しましたが、子どもたちの頑張りはいかに。

本荘小学校で研究モデル校発表を行いました。簡単に言いますと、本荘小学校の日ごろの研究の成果や取組みを熊本市の先生方に見に来ていただくという研究発表会です。本荘小といえば小規模の学校ですし、久しぶりの発表で、前回の発表は10年以上も前だったということ。私も後で聞いてびっくりとしたのですが、先生方の負担にならない規模で、本荘小の授業の様子を見ていただければということで開いた発表会でしたが、なんと200人をこえる参加者となってしまったのでした。(苦笑)



1年生の国語の授業 後ろにおられるのは本荘小で教頭をしておられた橋本須美子元校長先生



1年生の会場の横では、モニターによる中継。人が多すぎて入りきらなかったためです。



5年生の道徳の授業(体育館) 100人をこえる参観者の中で普段通りの授業をする5年生。体育館で行われた授業。会場の様子を見てください。緊張しない方がおかしい状況でした。



当日は2クラスの授業を公開しましたが、1クラスあたり100人近く、100人以上の参観者が授業を参観することになるのです。1年生は13人、5年生は8人の学級数なのにです。しかし、心配には及びませんでした。結果から申しますと、1年生も5年生も多くの参観者など気にせず、自分たちの普段通りの授業を行うことができたと思います。これって、すごいことではないでしょうか。

例えば1年生は教室に40人以上の参加者が途中交代しながら参観していました。(残りの人たちは隣の教室で生中継を参観していたのです) 5年生は体育館で100人をこえる参観者の中、マイクを使って授業をしていました。(裏面に続きます)

普通、こんなに多くの参観者に見られたら緊張して、一言も発することができなくなってしまうのではないのでしょうか。少なくとも子どもころの私ならば、その場から逃げ出していたかもしれません。しかし、本荘っ子たちは、なんなく、授業をしていたのです。もちろんすごいのは、子どもたちだけではなく授業をした、大田絢子先生、下原英雄先生もすごいのです。子どもたちとの対話を重視しながら、学習目標を達成する授業展開をし、大勢の参観者をうならせる教師力を発揮したのですから。

1年生は国語の説明文、5年生は道徳の学習でした。子どもたちの頑張った姿に校長先生はうれし涙の研究発表会なのでした。(校長)

### 校長先生の虫眼鏡 「研究発表会の様子」

この日は、先生方のいろいろな姿がありました。本荘っ子のためにがんばった先生方に拍手です。



国語部会の様子 司会は田畑先生、授業者は大田先生



道徳部会の様子 授業者は下原先生、司会者は昨年までの教頭先生、中野校長先生



1年生の国語の授業で出てきたコチドリさん。1年教室で卵を守っていました。(もちろん、本物ではありません 笑)